

第 38 回運営推進会議議事録

～グループホームつながり～

出席者

・ご家族代表者	1 名
・地区民生委員	1 名
・福祉用具ショップ	1 名
・函南町福祉課	1 名
・GH つながり	1 名

1. 自己紹介

初めて参加してくださる方もいらしたため自己紹介から入りました。

2. 6.7 月の入居者様状況と今後の予定

別紙参照してください。

3. 日々の活動内容

別紙参照してください。

4. 普段の様子

別紙参照してください。

5. 地域との関わり

別紙参照して下さい。

6. 6.7 月の職員研修

6 月分は別紙参照してください。

7 月は介護基礎研修に参加した職員の報告を紹介しました。

7. 気づき・アクシデント報告

6.7 月の中から抜粋しました。別紙参照してください。

8. 出席された皆様より

今回からボランティアの方々をお呼びするようになった様ですが、地域の方との交流にもなりますし、入居されている方々も喜ばれると思うので今後も活用された方が良いでしょうと思います。写真を見てもとても楽しそうに見えますので。

他の方々と一緒に行動するのが苦手な父が楽しそうにレクリエーションに参加しているのを見て安心しました。

職員さんが行っている研修、今回は食中毒対策と熱中症対策を取り上げていましたが、お話を聞いてとても参考になりました。

ワーファリンと言う薬が出てきましたが、それはどんなお薬ですか？
⇒血液をサラサラにするお薬です。これを飲まれている方が
出血すると血が止まりにくいので注意が必要です。

9. 次回運営推進会議日程

9月25日（水）14：00～ 予定



第38回運営推進会議

グループホームつながり

R1.7.25

グループホームつながり

理念

ゆっくい

ゆったい

あいのままに

いつもにここにこ



R1.7.25

登録数17名

男性 5名

女性 12名

	7月				
	前回推進会議時	更新時変更	新規	終了	合計
要支援 2					
要介護 1	3				3
要介護 2	6				6
要介護 3	6				6
要介護 4	1				1
要介護 5	1				1
申請中					
合計	17				17

平均介護度 2.4

日々の活動

バイタル測定

創作活動

入浴

ラジオ体操

口腔体操

散歩

洗濯物干し

洗濯物たたみ

調理補助

居室・フロア清掃

その他

買い物

ヘアカット

病院往診・受診

訪問歯科

訪問リハ

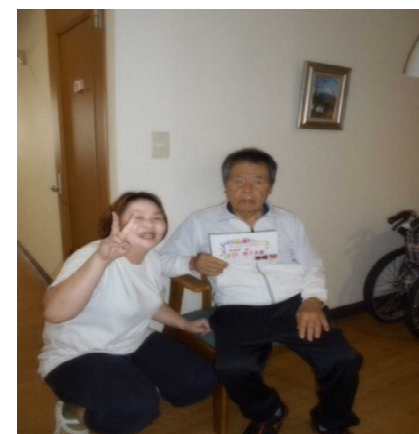
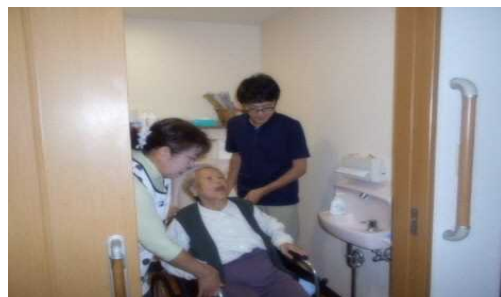
ボランティア

こんな感じで毎日楽しくすごしてま～す♪



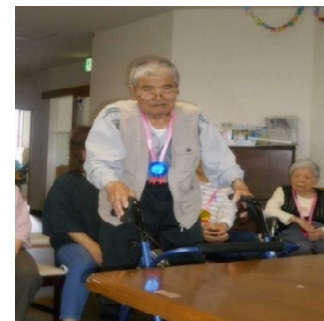
☆:HAPPY☆:
☆BIRTHDAY☆

作業療法士が訪問し日常動作を確認します。



運動会

勝ち負けより楽しければいいの！
オ・ト・ナですから！！



職員も楽しむ！

オラツチェへ ソフトクリーム



を食べに行くぞー



地域の方々とのふれ合いも大切な時間！

行こうや塚本さんでのひと時



コーヒースタンド 



地域の方と一緒に体操



今月の壁画で～す



フラダンスボランティアの皆さんをお招きして



身体が自然に動き出す((´▽`))



思わずうっとり..



6月の職員研修

食中毒対策・熱中症対策

・食中毒の原因

食中毒を起こす主な原因は『細菌』と『ウイルス』です。

『細菌』は温度や湿度などの条件が揃うと食べ物の中で増殖し、それを口にすることで食中毒を引き起こす。

『ウイルス』は低温や乾燥した環境の中で長く生存する。

細菌が原因となる食中毒は6月から8月に多く発生する。

・台所に潜む食中毒の危険

肉や魚などの食材には細菌やウイルスが付着している。

手を洗わずに食材や食器を触ると手を介してそれらにも細菌・ウイルスが付着するため要注意。

6月の職員研修

食中毒対策・熱中症対策

・食中毒の予防

(1) につけない＝洗う！ 分ける！

～手を洗う～

- ・調理を始める前
- ・生の肉や魚・卵などを取り扱う前後
- ・調理の途中で、トイレに行ったり鼻をかんだりした後
- ・おむつを交換したり、動物に触れたりした後
- ・食卓につく前
- ・残った食品を扱う前

* まな板などの器具から、加熱しないで食べる野菜などへ菌が付着しないようにきれいに洗い殺菌する。食品の保管も密封容器に入れたりラップをかけるなどの対応をする。

6月の職員研修

食中毒対策・熱中症対策

・食中毒の予防

(2) 増やさない＝低温で保存する

細菌の多くは高温多湿な環境で増殖が活発になるが、10℃以下では増殖のスピードが遅くなりマイナス15℃以下では停止する。菌を増やさないためには低温で保存することが重要。

食べ物に付着した菌を増やさないためには低温で保存することが重要。ただし冷蔵庫に入れても細菌はゆっくりと増殖するため過信せず早めに食べることが大切。

(3) やっつける＝加熱処理

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅するため肉や魚は勿論、野菜なども加熱して食べれば安全。布巾やまな板、包丁などの調理器具にも、細菌やウイルスが付着する。洗剤でよく洗ってから熱湯をかけて殺菌する。

6月の職員研修

食中毒対策・熱中症対策

- ・ **高齢者の脱水症状の原因は？**

- ・ **身体機能の低下**

腎臓機能の低下、筋肉量の低下によって体内の水分が失われやすくなる。
発汗が多くなると体温を調節する機能も追いつかなくなり注意が必要となる。

- ・ **食事量の不足**

高齢者は食事の摂取量が少ないためもともと『水分・電解質』が不足しがち。
その状態で発汗が多くなると『水分・電解質』が更に失われてしまい脱水症状を引き起こす。

- ・ **暑さ対策不足**

水分塩分の補給が少ない。
エアコンを使わない(嫌い・節電)

6月の職員研修

食中毒対策・熱中症対策

・高齢者の脱水症状のサインは？

1. 元気がなくフラフラしている。
2. ひどい頭痛、足がつる。
3. その他(かくれ脱水)
 - ・血圧が低下している
 - ・脈拍が早くなっている
 - ・汗の量が多い
 - ・手足が普段より冷たい

・具体的な対策方法

日常の些細なことから『かくれ脱水』も予防していくことが大切。

予防するにあたってもっとも重要なのは『体温調整』

- ・風通しの良い『涼しい服装』を心掛ける。
- ・エアコンを上手に使い適切な温度調整をする。
- ・冷却スカーフ・タオルを利用する。

気づき・アクシデント

- ・ **アクシデント 5件**

内容: T・S 様 6月15日(土) PM 1:40

居室ベッドで休まれていたがガタンと音がして訪室。ベッド横に転倒しているT様を発見する。
痛みの訴え・外傷はなく血圧安定している為様子観察とする。

H・U 様 7月16日(火) AM11:30

風船バレーを行っている最中にバランスを崩し椅子から転落され尻もちをつく。
痛み・外傷共になく血圧安定しており様子観察する。

- ・ **気づき 12件**

内容: k・K 様 6月30日(日) PM4:40

右手首くる節に皮下出血あり。ワーファリンの影響で痣の様に出現あるため今後ほか部位も注意して見守りましょう。



ありがとうございました。

グループホーム つながり
☎055-970-2938